

< 沖縄県内在住の求職者対象 > 「新型コロナウイルス感染症の影響について」 アンケート調査

■ 今回の調査のポイント

沖縄県内在住の求職者（仕事探しをしている方）を対象に、就職活動をする上での「新型コロナウイルス感染症」の影響の有無、影響のある場合・ない場合の仕事探しの目的について調査しました。

■ 調査報告データ

①属性別まとめ：正社員、契約・派遣社員、主婦・夫、フリーター、無職

②年代別まとめ：20代、30代、40代、50代

■ 調査概要

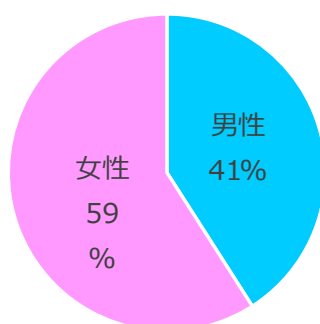
調査期間：2021年2月16日～2月23日（1週間）

調査対象：沖縄県内在住の20才～59才までの求職者（仕事探しをしている方）

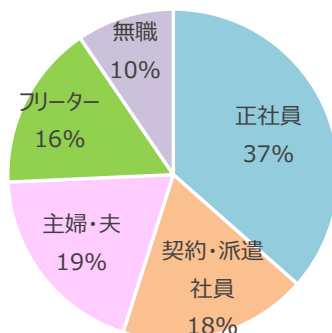
調査方法：外部モニターを使ったインターネット調査 ※弊社メディアユーザー対象の調査ではありません

サンプル数：315サンプル（内訳は下記の通り）

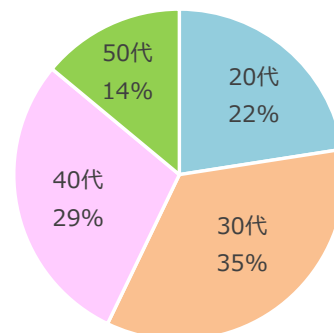
【男女の内訳】



【属性の内訳】



【年齢の内訳】

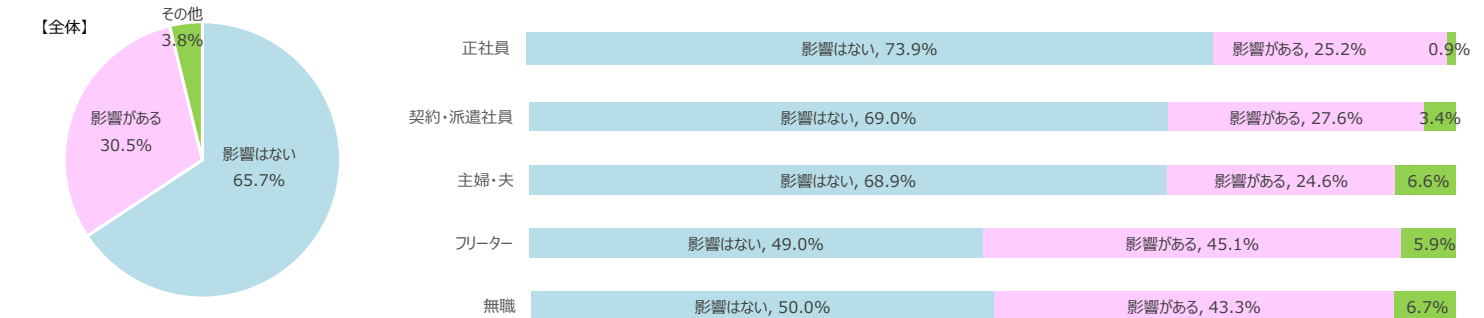


< ①属性別まとめ >

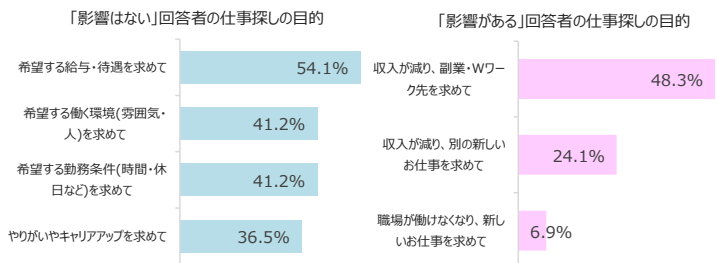
**正社員、契約・派遣社員では『約70%』が影響を受けておらず、コロナ禍でもより良い就業条件を求め転職活動を行っている。
フリーター、無職では『約45%』が影響を受け、新たな働き場所で収入を得るための就職活動を行っていることが分かる。**

正社員、契約・派遣社員の「社員系」ではコロナウイルスの影響は30%以下に留まり、就職活動の理由は「希望する給与・待遇を求めて」が多く、コロナ禍においてもより良い環境を求めて活動している事が伺えます。一方影響を受けている理由としては、正社員が「副業・Wワーク先を求めて」と現在の仕事を軸にプラスの収入を得る動き、契約・派遣社員は「別の新しいお仕事を求めて」と職を変える動きも見られます。主婦・夫は影響の有無に差はあるものの、新たに働きにでる動きが活発になっています。フリーター、無職では他の属性に比べ影響を受けている割合が多く、新たな働き場所・収入を求めて就職活動を行っていることが分かります。また割合が少し増える主婦・夫、フリーター、無職の『その他』は、「コロナ禍に関係なく空いた時間を有効に使うため」などの声があります。

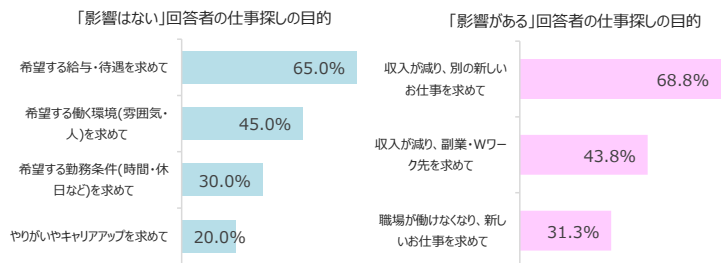
■ 仕事探しに、「新型コロナウイルス感染症」の影響はありますか？



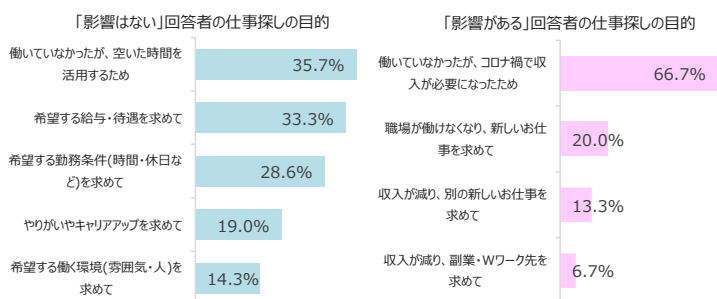
【正社員】



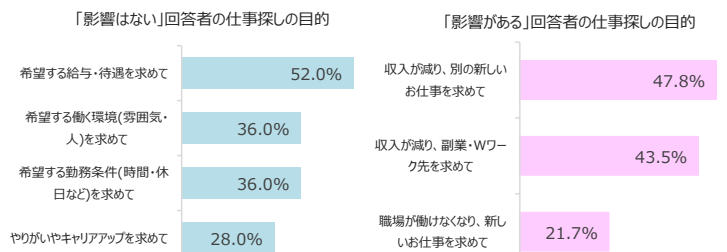
【契約・派遣社員】



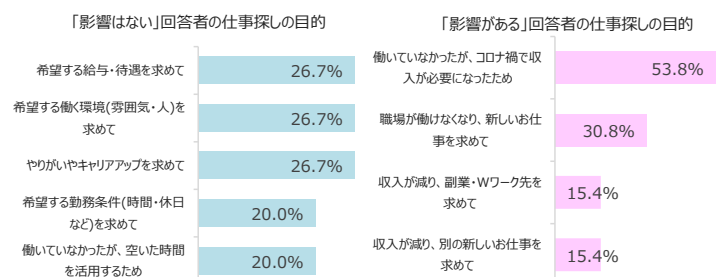
【主婦・夫】



【フリーター】



【無職】

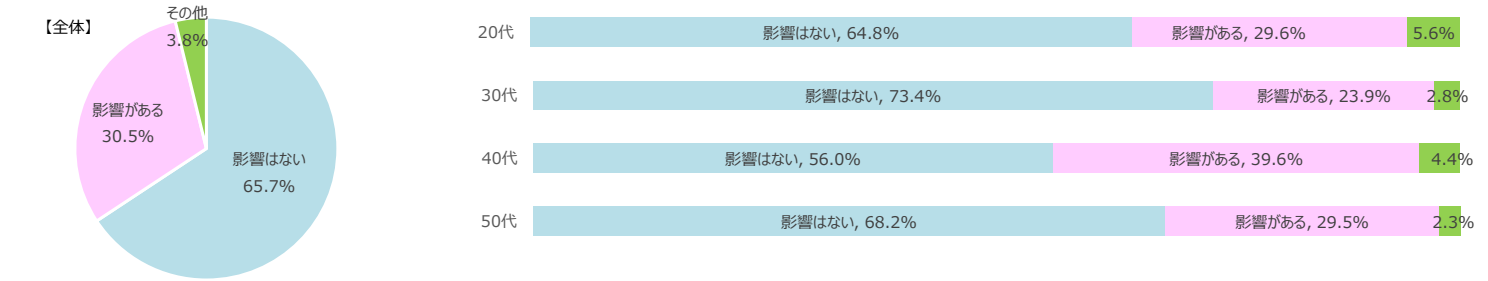


< ②年代別まとめ >

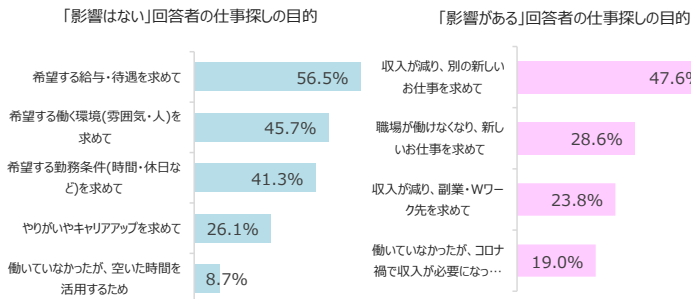
**最も影響を受けているのは40代で『約40%』、その理由として「収入が減り、副業・Wワーク先を求めて」が最多。
最も影響が少ないのが30代で、20代・50代も影響は『約30%』。活動理由は「希望の給与・待遇を求めて」が多い。**

各年代影響を受けていない方の就職活動の理由として「希望する給与・待遇を求めて」が多く、コロナ禍においてもより良い環境を求めて活動している事が伺えます。20代・50代では影響を受けているのは共に『約30%』ですが、影響を受けている理由として、20代は「別の新しいお仕事を求めて」と自ら転職活動をする動き、50代は「副業・Wワーク先を求めて」と現在の仕事を軸にプラスの収入を得る動きと、活動内容が分かれています。影響が少ないのは30代ですが、影響を受けている活動として、収入が必要になり新たに働きにでる動きが見られます。最も影響を受けているのは40代で『約40%』。ただその理由として「職場が働けなくなった」は少なく、多くの回答として、現在の仕事を軸にプラスの収入を得る動きや、働いていなかったが収入が必要になり新たに働きにでる動きが見られます。

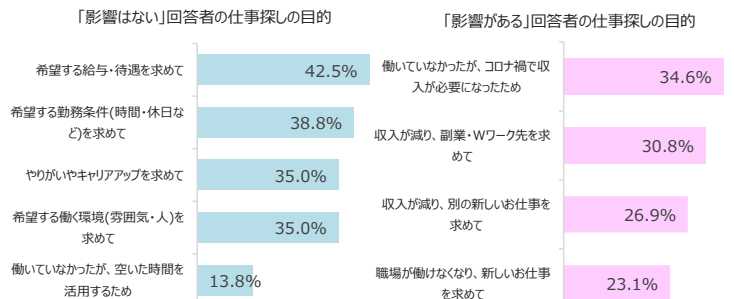
■ 仕事探しに、「新型コロナウイルス感染症」の影響はありますか？



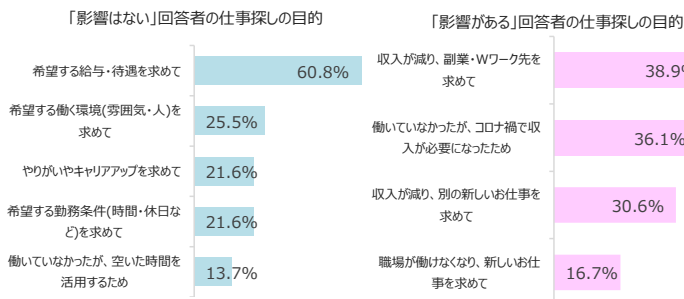
【20代】



【30代】



【40代】



【50代】

